

BladeSymphony BS500

LCD タッチコンソール ユーザーズガイド

BS500010-13

登録商標・商標

HITACHI、BladeSymphony、Cosminexus、HiRDB、JP1、Virtage は、(株)日立製作所の商標または登録商標です。

Intel、インテル、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

発行者情報

株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

発行

2018年3月(第13版)

著作権

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright © Hitachi,Ltd.2012,2018,All rights reserved.

目次

はじめに	9
お知らせ	10
重要なお知らせ	10
システム装置の信頼性について	10
規制・対策などについて	10
このマニュアルで使用している記号	11
安全にお使いいただくために	12
安全に関する注意事項	12
安全に関する共通的な注意について	13
操作や動作は	13
自分自身でもご注意を	13
一般的な安全上の注意事項	13
1. LCD タッチコンソールの準備	21
1.1 概要	22
1.2 サーバシャーシへの接続	23
1.3 サーバシャーシからの切断	23
1.4 格納方法	24
1.5 機能一覧	25
2. 操作	29
2.1 ホーム	30
2.1.1 Unconfirmed events	30
2.1.2 装置の動作状態表示	30
2.2 システム構築	31
2.2.1 ネットワーク設定	31
2.2.2 サービス設定	31
2.2.3 時刻設定	33
2.2.4 暗証番号設定	33
2.2.5 インポート	34
2.2.6 法的情報	34
2.3 ハードウェア保守	34
2.3.1 サーバブレード	35
2.3.2 スイッチモジュール	39
2.3.3 マネジメントモジュール	41
2.3.4 ファンモジュール	44
2.3.5 電源モジュール	45
2.3.6 サーバシャーシ	46

2.4 ダンプログ採取	48
2.5 日本語/English 切り替え	49
3. ソフトウェアのライセンス情報	51
3.1 ソフトウェアのライセンス情報	52



目次

図 1-1 LCD タッチコンソール外観	22
図 1-2 LCD タッチコンソールとサーバシャーシの接続	23
図 1-3 LCD タッチコンソール画面におけるログアウトボタンおよび USB アンマウントボタンの位置	24
図 2-1 ホーム画面	30



表目次

表 1-1 LCD タッチコンソールハードウェア仕様	22
表 1-2 LCD タッチコンソール機能で使用可能な USB メモリ	22
表 1-3 画面構成	25
表 2-1 設定表示の内容	31
表 2-2 設定表示の内容	31
表 2-3 設定表示の内容	33
表 2-4 設定項目の内容	34
表 2-5 サマリ表示の内容	35
表 2-6 詳細表示の内容	36
表 2-7 サマリ表示の内容	39
表 2-8 詳細表示の内容	40
表 2-9 サマリ表示の内容	41
表 2-10 詳細表示の内容	42
表 2-11 サマリ表示の内容	44
表 2-12 詳細表示の内容	45
表 2-13 サマリ表示の内容	45
表 2-14 詳細表示の内容	46
表 2-15 詳細表示の内容	47



はじめに

マニュアルをよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

- お知らせ
- このマニュアルで使用している記号
- 安全にお使いいただくために

お知らせ

重要なお知らせ

- ・ 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複製することは固くお断わりします。
- ・ 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・ 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ この製品には、RSA Data Security からライセンスを受けたコードが含まれています。
- ・ BS520H サーバブレード B5 は個別対応品です。

システム装置の信頼性について

ご購入いただきましたシステム装置は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする場合には別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例

- ・ 化学プラント制御・医療機器制御・緊急連絡制御等

規制・対策などについて

電波障害自主規制について

電波障害自主規制については、次の説明文をお読みください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 準用品について

JIS C61000-3-2 準用品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値(1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」を準用し、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

雑音耐力について

本製品の外来電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格 IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ試験」のレベル 2 に相当する規定に合致していることを確認しております。

輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明の場合は弊社担当営業にお問い合わせください。なお、この装置に付属する周辺機器やプレインストールされているソフトウェアも同じ扱いになります。

システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンやシステム装置はオフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのシステム装置の中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのシステム装置を譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- ・ データを「ゴミ箱」に捨てる
- ・ 「削除」処理を行う
- ・ 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ ソフトで初期化（フォーマット）する

などの作業をすすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows®などのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このシステム装置のハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。システム装置ユーザが、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくシステム装置を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

ハードディスクのデータを消去するユーティリティは、『CLEAR-DA』、『CLEAR-DA RAID』などがあります。詳細は担当営業へお問い合わせください。

制限

『CLEAR-DA』は、CDより起動させて使用します。

本システム装置については、別途USB外付けCD装置が必要となります。

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、次に示すアイコンを使用します。

アイコン	ラベル	説明
 警告	警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
通知	通知	これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損傷を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 重要	重要	重要情報や追加情報、および装置やソフトウェアの制限事項を説明します。
 参考	参考	より効率的に業務を行うために、知っておくと役に立つ情報や指針となる情報を説明します。

このマニュアルでは、次に示す記号を使用しています。

記号	意味
[] (角括弧)	GUI 操作の説明 メニュータイトル、メニュー項目、タブ名、およびボタンの名称を示します。メニュー項目を連続して選択する場合は、[] を「-」(ハイフン) でつないで説明しています。 キー操作の説明 キーの名称を示します。
斜体文字	可変値であることを示します。

安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項

この項で説明する安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害をひき起こす隠れた危険に注意を喚起するために用いられます。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルの後に続く安全に関するメッセージに従ってください。



警告

これは、死亡または重大な傷害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。



注意

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。

通知

これは、人身傷害とは関係のない損害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。



【表記例 1】感電注意

⚠の図記号は注意していただきたいことを示し、⚠の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例 2】分解禁止

🚫の図記号は禁止事項を示し、🚫の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。なお、🚫の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

🔌の図記号は行っていただきたいことを示し、🔌の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。なお、🔌は一般的に行っていただきたい事項を示します。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・ 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- ・ 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- ・ 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルも参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お問い合わせ先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

一般的な安全上の注意事項

本製品の取り扱いにあたり次の注意事項を常に守ってください。



電源ケーブルの扱い

電源ケーブルは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出し、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因になります。

- 物を載せない
- 熱器具のそばで使用しない
- 加熱しない
- 束ねない
- 紫外線や強い可視光線を連続して当てない
- コードに傷がついた状態で使用しない
- 高温環境で使用しない
- 定格以上で使用しない
- ほかの装置で使用しない
- 電源プラグを濡れた手で触らない

なお、電源プラグはすぐに抜けるよう、コンセントの周りには物を置かないでください。



電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因となります。

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。



電源コンセントの扱い

- 電源コンセントは接地型 2 極差し込みコンセントをご使用ください。その他のコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。
- コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと、万一電源の故障時などに感電するおそれがあります。



電源プラグの抜き差し

電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。



電源モジュールについて

電源モジュールは、高電圧部分が内部にあるためカバーを開けないでください。感電や装置の故障の原因になります。



電源スロットカバーの取り付け

電源ユニットの取り外し時、手や工具を内部に差し入れないでください。また、取り外し後は電源スロットカバーを取り付けてください。電源スロット内部には導体が露出した部分があり、万一手や工具などで触れると感電や装置の故障の原因になります。



異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、装置のすべて（最大4本）の電源プラグをコンセントから抜いてください。



修理・改造・分解

本書の指示にしたがって行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一手をさわると危険です。



カバー・ブラケットの取り外し

カバー・ブラケットの取り外しは行わないでください。感電ややけど、または装置の故障の原因となります。



電源モジュールのカバーの高温について

電源モジュールは動作時カバーやハンドルが熱くなっています。障害が発生したモジュールを交換する場合などご注意ください。やけどをするおそれがあります。



10GBASE-R トランシーバの高温について

1/10Gbps LAN スイッチモジュールの10GBASE-R トランシーバは、動作時に熱くなっています。トランシーバの取り外しは、マネジメントモジュールから10Gbps LAN スイッチモジュールの電源を停止してから約5分以上、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。



装置内部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。本マニュアルで指示のない限り装置内部品の追加・交換は、電源を切った直後約30分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。



レーザー光について

- 本製品に搭載されているレーザーは、クラス1レーザー製品です。レーザー光を直視しないようにしてください。光学器械を用いてレーザー光を見ないようにしてください。
- レーザーモジュールのカバーを外すと、レーザー光が発射されています。使用していないボードのカバーは外さないようにしてください。



製品の取り扱い

- 製品は固定したラックに搭載してください。製品に寄りかかったり、上に乗ったりしないでください。また、床や壁などが弱い場所には設置しないでください。
- 過度な振動は与えないでください。落ちたり倒れたり、故障の原因となります。



ラック搭載について

- システム装置をラックキャビネットに取り付けたり取り外したりする場合は、必ず2人以上で作業を行い、無理をせず器具などを使用してください。また、ラックキャビネットの31U以上にシステム装置を取り付けたり、取り付けられている場合は、作業は行わず、保守員にお任せください。取り付け不備によりシステム装置が落下し、怪我をしたり装置が故障するおそれがあります。
- ラックキャビネットから装置を引き出して作業を行う場合、必ずラックキャビネットにスタビライザーを取り付けてください。無理な力がかかるとラックキャビネットが転倒し、怪我や故障の原因となります。取り付けられていない場合は保守員をお呼びください。



ラックキャビネット搭載時の取り扱い

ラックキャビネット搭載時、装置上面の空きエリアを柵または作業空間として使用しないでください。装置上面の空きエリアに重量物を置くと、落下による怪我の原因となります。



金属など端面への接触

装置の移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。けがをするおそれがあります。



不適切なバッテリー

不正な種類のバッテリーと交換すると爆発の危険があります。
使用済みのバッテリーは指示にしたがって廃棄してください。



電池の取り扱い

電池の交換は保守員が行います。交換は行わないでください。また、次のことに注意してください。取り扱いを誤ると過熱・破裂・発火などでけがの原因となります。

- 充電しない
- ショートしない
- 分解しない



バッテリーの保管

バッテリーを保管する際は、バッテリー端子に接着テープを貼付して絶縁してください。絶縁しないと、端子同士の接触によりショートして、過熱や破裂を引き起こすことがあり、怪我や火災につながります。



装置内部への異物の混入

通気孔などから、内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないください。そのまま使用すると、故障の原因になります。



落下などによる衝撃

落下させたりぶつけるなど、過大な衝撃を与えないください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると故障の原因になります。



通気孔

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないください。内部の温度が上昇し、故障の原因になります。また、通気孔は常にほこりが付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。



接続端子への接触

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないください。短絡が起きて故障の原因になります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると装置の故障の原因となります。すぐに電源を入れたりせず、使用する場所で数時間そのまま放置し、室温と装置内温度がほぼ同じに安定してからご使用ください。

たとえば、5℃の環境から25℃の環境に持ち込む場合、2時間ほど放置してください。



周辺機器の増設や接続

マニュアルの説明にしたがい、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器をご使用ください。それ以外のものを使用すると、接続仕様の違いにより周辺機器や装置の故障の原因になります。



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。



強い磁気の発生体

磁石やスピーカーなどの強い磁気を発生するものを近づけないでください。システム装置の故障の原因になります。



ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは精密機械です。ご使用にあたっては、大切に取り扱いってください。取り扱い方法によっては、ハードディスク故障の原因になります。



障害ディスクについて

障害ディスクの交換では、操作手順の誤りや交換ディスクの故障などにより、データが破壊されるおそれがあります。交換の前にデータのバックアップを取ってください。



アルミ電解コンデンサ

アルミ電解コンデンサは有寿命部品です。耐用期間を過ぎた製品は使用しないでください。耐用期間を過ぎた製品を使用した場合、電解質の漏洩や消耗により、発煙や感電を引き起こすことがあります。こうした危険な状況を起こさないために、所定の耐用期間を過ぎた有寿命部品は交換してください。



分電盤

分電盤は出入り口付近に設置して、コンピュータシステムのデバイスを保護し、緊急時の電源遮断器として使用してください。



信号ケーブルについて

- ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとけがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



電源を切る前に

- 電源操作は決められた手順にしたがって行ってください。決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、システム装置の故障の原因になります。
- 電源を切る前に、装置に接続するすべてのデバイスが停止していることを確認してください。装置の稼働中に電源を切ると、装置が故障したり、データが消えることがあります。
- シャットダウンを必要とする OS を使用している場合は、電源を切る前に必ずシャットダウンを終了してください。シャットダウン終了前に電源を切ると、データが消えることがあります。



ラック搭載時の注意

- **周囲温度の上昇について**
閉鎖型或いはマルチユニット型組み立てラックへ装置を搭載する場合は、装置稼働時のラック内温度が室内周辺温度より高くなることがあります。装置の最大定格周囲温度を超えないようご注意ください。
- **エアフローの低下について**
装置をラックに搭載する際は、装置の安全稼働に必要なエアフロー量が低下しないようご注意ください。
- **リフターによる搭載について**
装置をリフターでラック搭載する際は、高低差のない水平な場所で作業を行い、危険な状態とならないようご注意ください。
- **過負荷について**
装置への給電を行う際には、過電流による回路の遮断や電源ケーブルの発熱にご注意ください。このため、定格に十分注意して使用することが必要です。
- **接地の接続**
ラック搭載装置は、常に確実なアース接続を行ってください。分岐回路(例: テーブルタップ)への電源接続で接地接続されない装置では、特にご注意ください。

LCD タッチコンソールの準備

この章では、LCD タッチコンソールについて説明します。

- 1.1 概要
- 1.2 サーバシャーシへの接続
- 1.3 サーバシャーシからの切断
- 1.4 格納方法
- 1.5 機能一覧

1.1 概要

LCD タッチコンソールは、システム装置の USB ポートに接続してシステム装置の状態の表示およびシステム装置の設定を行う入出力装置です。

本マニュアルでは、LCD タッチコンソールにより実現できる機能について説明します。

LCD タッチコンソールは、システム装置内のサーバブレード、スイッチモジュール、電源モジュールおよびファンモジュールなどの各種モジュールの状態の表示、システム装置への設定を行うハードウェアです。外観は次の図のとおりです。

図 1-1 LCD タッチコンソール外観

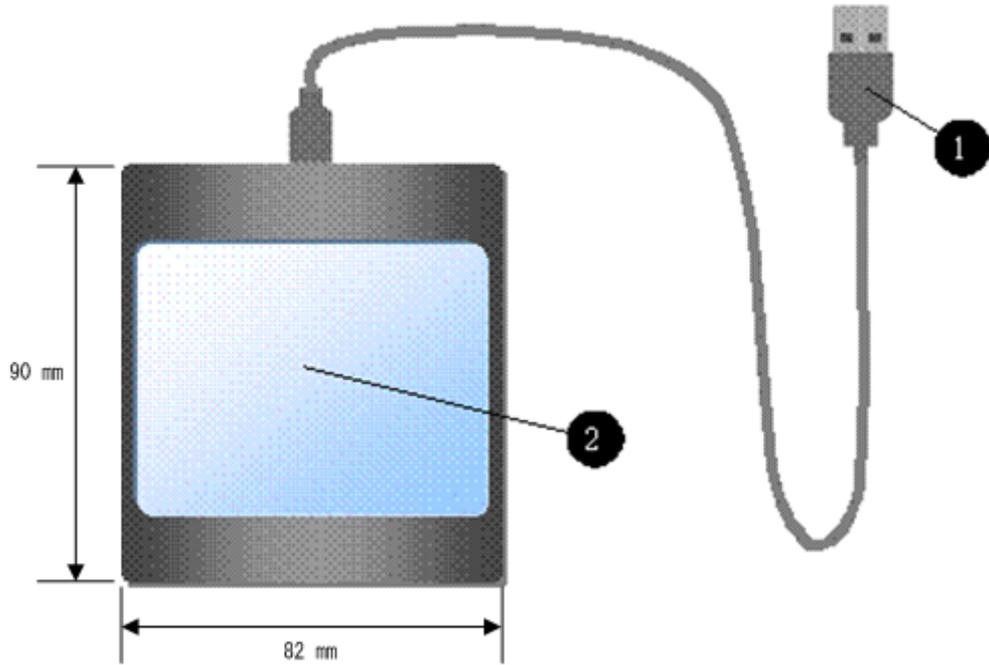


表 1-1 LCD タッチコンソールハードウェア仕様

#	項目	仕様
1	USB ケーブル長	1.5m
2	LCD タッチコンソール操作部	解像度：320x240 ドット 出力色数：18 ビットカラー 電源：サーバシャーシから供給 内蔵メモリ：ユーザによるデータ格納領域なし

LCD タッチコンソールによる機能においては、USB メモリを必要とする機能があります。

USB メモリについてはお客様にて用意してください。使用可能な USB メモリは次のとおりです。

表 1-2 LCD タッチコンソール機能で使用可能な USB メモリ

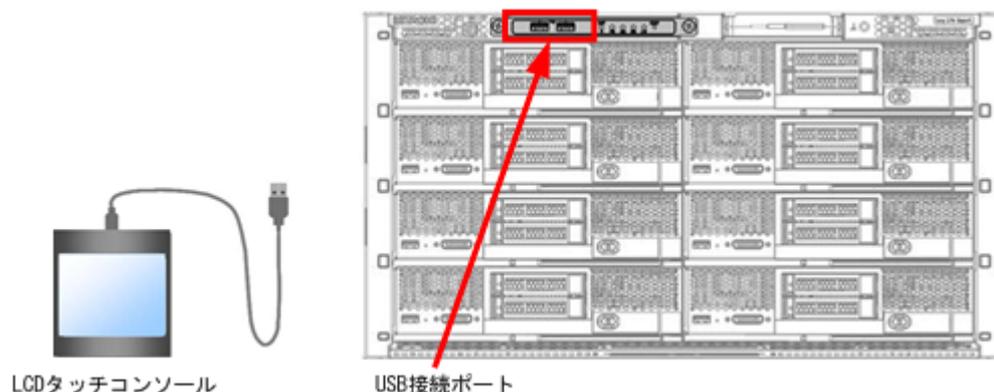
#	項目	仕様
1	容量	32GB まで
2	フォーマット	FAT32 フォーマット
3	USB インタフェース	1.1 および 2.0

参考 LCD タッチコンソールにおいて、ボタンのタッチによる画面遷移を">"で表します。
例：ホーム>システム構築
ホーム画面からボタンをタッチしてシステム構築画面に遷移したことを表します。

1.2 サーバシャーシへの接続

LCD タッチコンソールをサーバシャーシに接続するためには、サーバシャーシ前面のフロントパネルにある USB 接続ポートと、LCD タッチコンソールを付属の USB ケーブルで接続してください。サーバシャーシ前面のフロントパネルには 2 つの USB 接続ポートがありますが、どちらの USB 接続ポートに接続しても LCD タッチコンソールを使用することができます。

図 1-2 LCD タッチコンソールとサーバシャーシの接続



重要

- USB での接続において、USB ハブおよび USB 切替器の使用はできません。
- サーバブレードの USB 接続ポートに接続しての LCD タッチコンソールの使用はできません。
- CLI コンソールで LCD タッチコンソールの無効化設定をしている場合は、USB 接続ポートに接続しても使用はできません。
- USB ポート設定により USB 接続ポートが無効に設定されている場合、LCD タッチコンソールの使用はできません。

LCD タッチコンソールを USB 接続ポートに接続した場合、LCD タッチコンソールの画面には「Please wait...」という文字が表示されたまま操作できない状態になります。この場合 LCD タッチコンソールを USB 接続ポートから取り外してください。

LCD タッチコンソールで USB メモリを使用する場合は、サーバシャーシのフロントパネルにある USB 接続ポートのうち、LCD タッチコンソールを接続していないポートを使用して接続してください。

1.3 サーバシャーシからの切断

USB メモリを抜去する場合は、USB メモリのアンマウントを実施してください。

USB メモリのアンマウントは LCD タッチコンソールの画面にある USB デバイスアンマウントボタンをタッチすることで行うことができます。USB デバイスをアンマウント後、USB メモリを抜去してください。

LCD タッチコンソールをサーバシャーシから切断するためには、LCD タッチコンソールからログアウト操作を実施してください。

ログアウト操作は LCD タッチコンソールの画面の右上に表示している[Logout]ボタンをタッチすることで行うことができます。ログアウト操作後、サーバシャーシ前面のフロントパネルにある USB 接続ポートと、LCD タッチコンソールを接続している USB ケーブルを抜去してください。

重要 アンマウントせずに抜去した場合、USB メモリに転送中、あるいは USB メモリから転送中のデータが異常なデータになることがあります。

図 1-3 LCD タッチコンソール画面におけるログアウトボタンおよび USB アンマウントボタンの位置



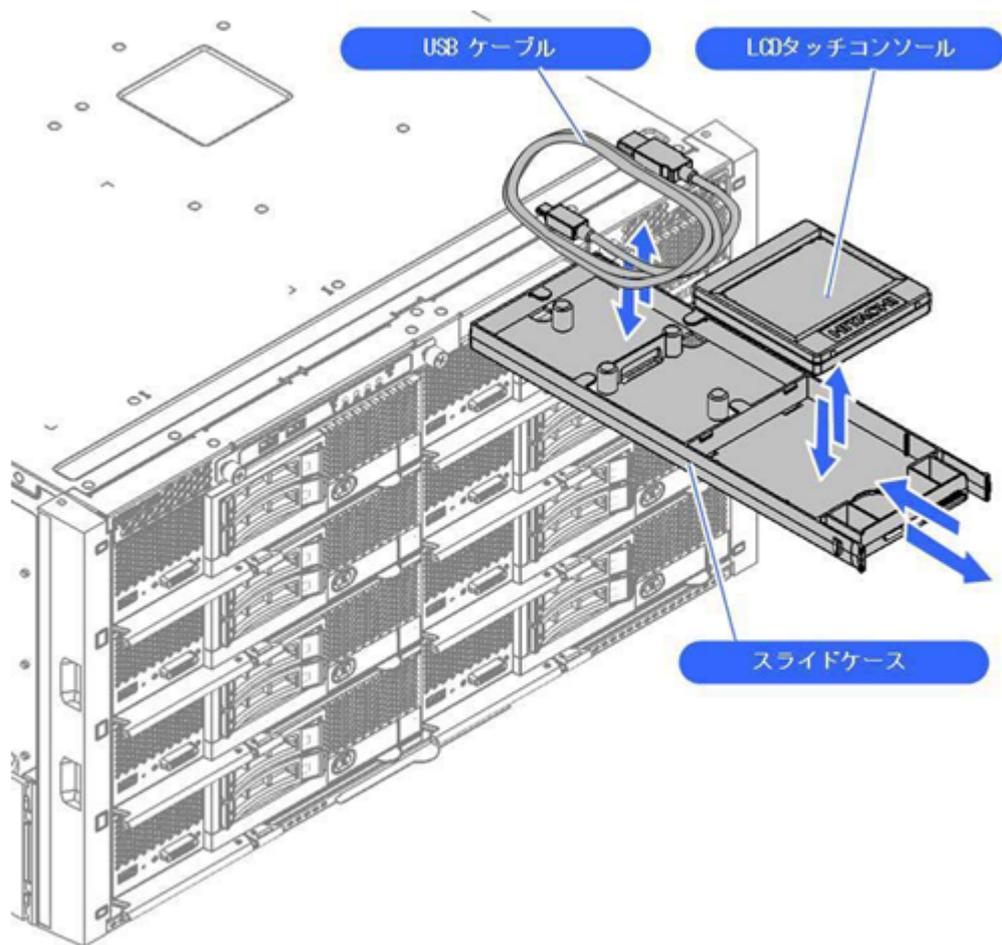
1.4 格納方法

LCD タッチコンソールは、サーバシャーシのスライドケースに格納されています。

LCD タッチコンソールを取り出す場合は、サーバシャーシからスライドケースを引き出してください。

USB ケーブルは、スライドケースからはみ出さないように、ガイドに巻きつけてあります。

詳細は次の図を参照してください。



重要 スライドケースには、LCD タッチコンソールおよび USB ケーブル以外のものを入れないでください。

1.5 機能一覧

LCD タッチコンソールの画面構成と各機能について次に示します。

表 1-3 画面構成

#	構成		
1	暗証番号入力	—	
2		ホーム	—
3		システム構成	—
4			ネットワーク設定
5			サービス設定
6			時刻設定
7			暗証番号設定
8			インポート
9			法的情報
10			ハードウェア保守
11		サーバブレード	—
12			詳細表示

#	構成			
13				LID
14				F/W 更新
15				保守モード設定
16			マネジメントモジュール	—
17				詳細表示
18				LID
19				F/W 更新
20			スイッチモジュール	—
21				詳細表示
22				LID
23			ファン	—
24				詳細表示
25			電源モジュール	—
26				詳細表示
27			サーバシャーシ	—
28				LID
29				シャットダウン
30				保守モード設定 (SC)
31				保守モード設定 (FP)
32			ダンプ採取	
33			日本語/English	

#1 暗証番号入力

LCD タッチコンソールでの操作を暗証番号で認証することができます。認証機能の有効/無効は選択できます(デフォルト設定では無効)。

#2 ホーム

表示時点のシステム装置の動作状態(下記)を図により一覧表示することができます。(搭載状態、電源状態、障害状態、LID ON/OFF 状態、保守モード状態)

#3 システム構成

システム導入時の設定を行うためのメニューです。

#4 ネットワーク設定

マネジメントモジュールの管理 LAN IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの表示、設定ができます。LCD タッチコンソールではシステム装置を LAN 接続することなく設定を行うことができます。

#5 サービス設定

マネジメントモジュールの管理 LAN 接続において、Telnet, SSH/SFTP, HTTP, HTTPS, FTP の接続有効/無効設定および、接続先 IP アドレス制限設定の表示、設定ができます。LCD タッチコンソールではシステム装置を LAN 接続することなく設定を行うことができます。

#6 時刻設定

マネジメントモジュールの時刻設定、タイムゾーン設定、夏時間設定の表示、設定ができます。導入時にはマネジメントモジュールと BMC の時刻設定として使用することができます。

#7 暗証番号設定

LCD タッチコンソールの操作を暗証番号で認証する機能の有効/無効設定および有効にした場合の暗証番号設定ができます。

#8 インポート

事前に外部で作成し、USB メモリに格納した設定ファイルをマネジメントモジュール設定に反映することができます。外部にて設定ファイルを作成しておき、現地では設定ファイルの反映のみとすることで作業時間の短縮が可能です。

#9 法的情報

著作権情報および LCD タッチコンソールで使用している OSS のライセンス情報を表示します。

#10 ハードウェア保守

運用および保守時の設定を行うためのメニューです。

#11 サーバブレード

システム装置に搭載しているサーバブレードの動作状態の一覧表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#12 詳細表示

システム装置に搭載しているサーバブレードの動作状態、ハードウェア固有の情報、センサ情報の表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#13 LID

サーバブレードの LID の状態の確認および点灯/消灯状態の切り替えができます。

#14 F/W 更新

USB メモリ、あるいは USB CD-ROM に格納したアップデートファイルを用いてサーバブレードのファームウェアアップデートができます。

#15 保守モード設定

サーバブレードの保守モードの状態の確認および有効/無効状態の切り替えができます。

#16 マネジメントモジュール

システム装置に搭載しているマネジメントモジュールの動作状態の一覧表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#17 詳細表示

システム装置に搭載しているマネジメントモジュールの動作状態、ハードウェア固有の情報、センサ情報の表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#18 LID

マネジメントモジュールの LID の状態の確認および点灯/消灯状態の切り替えができます。

#19 F/W 更新

USB メモリ、USB CD-ROM に格納したアップデートファイルを用いてマネジメントモジュールのファームウェアアップデートができます。

#20 スイッチモジュール

システム装置に搭載しているスイッチモジュールの動作状態の一覧表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#21 詳細表示

システム装置に搭載しているスイッチモジュールの動作状態、ハードウェア固有の情報、センサ情報の表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#22 LID

スイッチモジュールの LID の状態の確認および点灯/消灯状態の切り替えができます。

#23 ファン

システム装置に搭載しているファンモジュールの動作状態の一覧表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#24 詳細表示

システム装置に搭載しているファンモジュールの動作状態、ハードウェア固有の情報、センサ情報の表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#25 電源モジュール

システム装置に搭載している電源モジュールの動作状態の一覧表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#26 詳細表示

システム装置に搭載している電源モジュールの動作状態、ハードウェア固有の情報、センサ情報の表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#27 サーバシャーシ

システム装置のサーバシャーシおよびフロントパネルの動作状態、ハードウェア固有の情報の表示ができます。これらはシステム装置に LAN 接続することなく確認することができます。

#28 LID

サーバシャーシのフロントパネルの LID の状態の確認および点灯/消灯状態の切り替えができます。

#29 シャットダウン

サーバシャーシのシャットダウンができます。

#30 保守モード設定 (SC)

サーバシャーシの保守モードの状態の確認および有効/無効状態の切り替えができます。

#31 保守モード設定 (FP)

サーバシャーシのフロントパネルの保守モードの状態の確認および有効/無効状態の切り替えができます。

#32 ダンプ採取

障害調査に必要な情報(システム装置の動作状態、ハードウェア固有の情報、ハードウェア構成、SEL、MAR ログ)を採取することができます。これらは LAN 接続することなく一括で(1ファイルに圧縮して)採取できます。

#33 日本語/English

LCD タッチコンソールで表示している言語の切り替えができます。

2

操作

この章では、LCD タッチコンソールの機能について説明します。

- 2.1 ホーム
- 2.2 システム構築
- 2.3 ハードウェア保守
- 2.4 ダンプログ採取
- 2.5 日本語/English 切り替え

2.1 ホーム

LCD タッチコンソールをサーバシャーシに接続することで、ホーム画面を表示します。

図 2-1 ホーム画面



参考 暗証番号による認証機能を有効にしている状態では、暗証番号の入力を要求する画面が表示されます。正しい暗証番号を入力することで、ホーム画面を表示します。詳細は「2.2.4 暗証番号設定」を参照してください。

2.1.1 Unconfirmed events

システム装置に障害あるいは警告が発生したことを表示します。

表示	説明
 (件数)	未確認の障害状態が存在することを示します。 詳細の確認は Web コンソールから行うことができます。
 (件数)	未確認の警告状態が存在することを示します。 詳細の確認は Web コンソールから行うことができます。

2.1.2 装置の動作状態表示

搭載モジュールの種類ごとに、動作状態を表示します。表示される動作状態を次の表に示します。

表示	説明
囲みなし	該当位置に搭載されているモジュールが正常に動作していることを示します。
?	該当位置に搭載されているモジュールを初期化していることを示します。
	該当位置に搭載されているモジュールが警告状態となっていることを示します。
	該当位置に搭載されているモジュールが障害状態となっていることを示します。
	該当位置に搭載されているモジュールを保守モードに設定していることを示します。

2.2 システム構築

使用するための操作：ホーム>システム構築

ホーム画面から[システム構築]ボタンをタッチすることで、システム構築画面を表示します。システム構築画面では、システム導入時の設定を行う各画面への遷移を行うことができます。

2.2.1 ネットワーク設定

使用するための操作：ホーム>システム構築>ネットワーク設定

ネットワーク設定画面では、マネジメントモジュールの管理ネットワークでの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定ができます。

1. システム構築メニューから[ネットワーク設定]ボタンをタッチします。
2. ネットワーク設定画面を表示します。

表 2-1 設定表示の内容

表示	説明
IP アドレス	マネジメントモジュールの管理ネットワークでの IP アドレスを示します。
サブネットマスク	マネジメントモジュールの管理ネットワークでのサブネットマスクを示します。
デフォルトゲートウェイ	マネジメントモジュールの管理ネットワークでのデフォルトゲートウェイを示します。

参考 LCD タッチコンソールで設定できるのは、IPv4 アドレスのみです。IPv6 アドレスの設定は、Web コンソールまたは CLI コンソールで設定してください。

2.2.2 サービス設定

使用するための操作：ホーム>システム構築>サービス設定

サービス設定画面では、マネジメントモジュールの管理ネットワークにおける telnet, ssh/sftp, HTTP, HTTPS, FTP のそれぞれのプロトコルについて、接続の有効/無効設定および接続可能な IP アドレスの範囲の設定ができます。

1. システム構築メニューから[サービス設定]ボタンをタッチします。
2. サービス設定画面を表示します。

表 2-2 設定表示の内容

表示		説明
Telnet	サービス	Telnet によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を設定します。
	接続制限	Telnet によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限の有効/無効を設定します。
	接続可能ネットワークアドレス	Telnet によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするネットワークアドレスを本 IP アドレス指定とサブネットマスク指定で設定します。
	ネットマスク	Telnet によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするサブネットアドレスを設定します。

表示		説明
FTP	サービス	FTP によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を設定します。
	接続制限	FTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限の有効/無効を設定します。
	接続可能ネットワークアドレス	FTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするネットワークアドレスを本 IP アドレス指定とサブネットマスク指定で設定します。
	ネットマスク	FTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするサブネットアドレスを設定します。
SSH/SFTP	サービス	SSH/SFTP によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を設定します。
	接続制限	SSH/SFTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限の有効/無効を設定します。
	接続可能ネットワークアドレス	SSH/SFTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするネットワークアドレスを本 IP アドレス指定とサブネットマスク指定で設定します。
	ネットマスク	SSH/SFTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするサブネットアドレスを設定します。
HTTP	サービス	HTTP によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を設定します。
	ポート番号	HTTP によるマネジメントモジュールへの接続を行うポート番号を設定します。
	接続制限	HTTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限の有効/無効を設定します。
	接続可能ネットワークアドレス	HTTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするネットワークアドレスを本 IP アドレス指定とサブネットマスク指定で設定します。
	ネットマスク	HTTP によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするサブネットアドレスを設定します。
HTTPS	サービス	HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を設定します。
	ポート番号	HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続を行うポート番号を設定します。
	接続制限	HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限の有効/無効を設定します。
	接続可能ネットワークアドレス	HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするネットワークアドレスを本 IP アドレス指定とサブネットマスク指定で設定します。
	ネットマスク	HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続について、IP アドレスによる制限が有効の場合、有効とするサブネットアドレスを設定します。

参考 LCD タッチコンソールで設定できるのは、マネジメントモジュールの管理ネットワークにおける IPv4 アドレスで接続するサービスのみです。IPv6 アドレスで接続するサービスの設定は、Web コンソールまたは CLI コンソールで設定してください。

2.2.3 時刻設定

使用するための操作：ホーム>システム構築>時刻設定

時刻設定画面では、マネジメントモジュールのローカル時刻、タイムゾーン、夏時間の設定ができます。

1. システム構築メニューから[時刻設定]ボタンをタッチします。
2. 時刻設定画面を表示します。

表 2-3 設定表示の内容

表示		説明
現在の時刻		タイムゾーンで指定した時間帯のローカルタイムを表示します。 また、現在が夏時間または標準時間のいずれであるかを表示します。
タイムゾーン		タイムゾーン設定を表示します。
夏時間設定		夏時間設定の有効/無効を表示します。
夏時間開始	月	【夏時間開始日時、夏時間終了日時について】 夏時間開始日時・終了日時については、以下の意味となります。 「月：」、「時刻：」については表示されている月、時刻がそのまま夏時間開始日時・終了日時となります。 <ul style="list-style-type: none">• 条件が「日」の場合： 指定した月の指定した日付に夏時間が開始・終了することを示します。
	条件	
	日	
	曜日	
	時刻	
夏時間終了	月	<ul style="list-style-type: none">• この条件では、曜日の指定は無効となります。• 条件が「日以降の最初の曜日」の場合： 指定した日付以降最初の指定曜日に開始・終了します。 たとえば、「指定日以降の最初の曜日」が「日」で、「日：」が「8」の場合、月の8日目を以降の最初の日曜日、つまり第2日曜日を示します。• 条件が「日以降の最後の曜日」の場合： 指定した日付以前の最初の指定曜日に開始・終了します。 たとえば、「指定日以降の最後の曜日」が「日」で、「月：」が「3」、「日：」が「24」の場合、3月の24日目以前の最初の日曜日、つまり月の終わりから2番目の日曜日を示します。• 条件が「最終の曜日」の場合： 指定した日付以前の最初の指定曜日に開始・終了します。 たとえば、「指定日以降の最後の曜日」が「日」で、「月：」が「3」、「日：」が「24」の場合、月の24日目以前の最初の日曜日、つまり月の終わりから2番目の日曜日を示します。この条件では、「日：」の指定は無効となります。
	条件	
	日	
	曜日	
	時刻	

2.2.4 暗証番号設定

使用するための操作：ホーム>システム構築>暗証番号設定

暗証番号設定画面では、LCD タッチコンソールをサーバシャーシに接続した場合の、暗証番号による認証の有効/無効の設定および暗証番号の設定ができます。

暗証番号による認証を有効から無効に変更する場合および暗証番号を変更する場合には、現在の暗証番号による認証が必要です。

1. システム構築メニューから[暗証番号設定]ボタンをタッチします。
2. 暗証番号設定画面を表示します。

表 2-4 設定項目の内容

表示	説明
暗証番号設定	暗証番号による認証機能の有効/無効を設定できます。
新しい暗証番号	暗証番号による認証機能が有効の場合、暗証番号を設定できます。 暗証番号は数字 4 桁です。
新しい暗証番号 (確認用)	新しい暗証番号を設定する場合、新しい暗証番号の確認のために、新しい暗証番号と同じ暗証番号を入力してください。 入力が新しい暗証番号と一致しない場合、設定は行われません。

参考 Web コンソールから暗証番号を初期化できます。

2.2.5 インポート

使用するための操作：ホーム>システム構築>インポート

インポート画面では、USB デバイスに格納したインポートファイルを用いた、マネジメントモジュールの設定ができます。詳細は『BladeSymphony BS500 マネジメントモジュール セットアップガイド』を参照してください。

1. システム構築メニューから[インポート]ボタンをタッチします。
2. インポート画面を表示します。

参考 USB デバイスの 1 ディレクトリに 50 以上のファイルおよびディレクトリがある場合、インポート画面では最大 50 のファイルおよびディレクトリを表示します。

USB デバイスに格納しているファイルおよびディレクトリ名について、ASCII コード以外の文字(ASCII 拡張領域は含まない)は正しく表示しません。インポートに用いるファイル名およびインポートに用いるファイルを格納するディレクトリパスについては ASCII コード(ASCII 拡張領域は含まない)を用いてください。

2.2.6 法的情報

使用するための操作：ホーム>システム構築>法的情報

法的情報画面では、著作権情報および LCD タッチコンソールにおける法的情報を表示します。

1. システム構築メニューから[法的情報]ボタンをタッチします。
2. 法的情報画面を表示します。

2.3 ハードウェア保守

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守

ホーム画面から[ハードウェア保守]ボタンをタッチすることで、ハードウェア保守メニュー画面を表示します。

ハードウェア保守メニュー画面では、運用および保守時の設定を行う各画面への遷移を行うことができます。

2.3.1 サーバブレード

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバブレード

サーバブレード画面では、現在のサーバブレード状態のサマリの表示を行うほか、各サーバブレードの詳細表示、LID の操作、ファームウェアの更新、保守モードの設定を行う画面への遷移を行うことができます。

重要 LCD タッチコンソールからは、BS520H サーバブレード B5 の表示・設定・操作はしないでください。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバブレード(SB)]ボタンをタッチします。
2. サーバブレード画面を表示します。

表 2-5 サマリ表示の内容

表示	説明
#	サーバブレード番号を表示します。
搭載	搭載状態を表します。 搭載：サーバブレードが搭載されています。 非搭載：サーバブレードが搭載されていません。 SMP 構成時には、搭載状態の後ろにプライマリサーバブレードかノンプライマリサーバブレードであることを表す(P)または(NP)を表示します。 搭載(P)：プライマリサーバブレードが搭載されています。 搭載(NP)：ノンプライマリサーバブレードが搭載されています。
電源	電源状態を表示します。 ON：電源が ON (Pre-configure 中含む)であることを示します。 ON 処理中：電源 ON 処理中であることを示します。 OFF：電源が OFF (スリープ状態含む)であることを示します。 OFF 処理中：電源 OFF 処理中であることを示します。 -----：サーバブレードが搭載されていない、またはノンプライマリサーバブレードの場合など、表示すべき情報がないことを示しています。
状態	動作状態を表示します。 正常：サーバブレードが正常であることを示します。 警告：サーバブレードが警告状態となっていることを示します。 障害：サーバブレードが障害状態となっていることを示します。 -----：サーバブレードが搭載されていない、またはノンプライマリサーバブレードの場合など、表示すべき情報がないことを示しています。
LID	LID 点灯状態を表示します。 ON：LID が点灯していることを示します。 OFF：LID が消灯していることを示します。 -----：サーバブレードが搭載されていない、またはノンプライマリサーバブレードの場合など、表示すべき情報がないことを示しています。
保守	数値：サーバブレードが保守モードに設定されていることを示します。数値はサーバブレードの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。 OFF：サーバブレードが保守モードに設定されていないことを示します。

(1) サーバブレード詳細表示

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバブレード>詳細表示

サーバブレード詳細表示画面では、サーバブレードの詳細な状態を表示します。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバブレード(SB)]ボタンをタッチします。
2. サーバブレード画面において、対象サーバブレードを選択します。

3. プルダウンメニューから[詳細表示]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
4. サーバブレード詳細表示画面を表示します。

表 2-6 詳細表示の内容

表示		説明
搭載		<p>搭載状態を表します。</p> <p>搭載：サーバブレードが搭載されています。</p> <p>非搭載：サーバブレードが搭載されていません。</p> <p>SMP 構成時には、搭載状態の後ろにプライマリサーバブレードかノンプライマリサーバブレードであることを表す(P)または(NP)を表示します。</p> <p>搭載(P)：プライマリサーバブレードが搭載されています。</p> <p>搭載(NP)：ノンプライマリサーバブレードが搭載されています。</p>
電源		<p>電源状態を表示します。</p> <p>ON：電源が ON (Pre-configure 中含む)であることを示します。</p> <p>ON 処理中：電源 ON 処理中であることを示します。</p> <p>OFF：電源が OFF (スリープ状態含む)であることを示します。</p> <p>OFF 処理中：電源 OFF 処理中であることを示します。</p> <p>-----：サーバブレードが搭載されていない、またはノンプライマリサーバブレードの場合など、表示すべき情報がないことを示しています。</p>
状態		<p>動作状態を表示します。</p> <p>正常：サーバブレードが正常であることを示します。</p> <p>警告：サーバブレードが警告状態となっていることを示します。</p> <p>障害：サーバブレードが障害状態となっていることを示します。</p> <p>-----：サーバブレードが搭載されていない、またはノンプライマリサーバブレードの場合など、表示すべき情報がないことを示しています。</p>
初期化状態		<p>サーバブレードの初期化状態を示します。</p> <p>初期化が正常終了になってから電源操作などが可能となります。</p>
LID		<p>LID 点灯状態を表示します。</p> <p>ON：LID が点灯していることを示します。</p> <p>OFF：LID が消灯していることを示します。</p> <p>-----：サーバブレードが搭載されていない、またはノンプライマリサーバブレードの場合など、表示すべき情報がないことを示しています。</p>
保守	残時間	<p>数値：サーバブレードが保守モードに設定されていることを示します。数値はサーバブレードの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。</p> <p>OFF：サーバブレードが保守モードに設定されていないことを示します。</p>

表示		説明	
	IP アドレス		保守員が保守作業中の場合に、保守用の IP アドレスが表示されます。保守用 IP アドレスが設定されている間は、リモートコンソールに接続することはできません。
電源復旧時の待ち時間			電源復旧時の待ち時間が設定されている状態で、シャーシの電源を ON にした場合の、サーバブレード電源 ON までの残り時間を表示します。
電源 ON 抑止状態			サーバブレードの電源 ON 抑止状態の有効/無効を表示します。 電源 ON 抑止状態は、N+M 切り替えが途中で失敗した場合に設定される場合があります。
動作モード			サーバブレードで HVM の使用の有無を表示します。 Basic: サーバブレードは HVM を使用していません。 HVM: サーバブレードは HVM を使用しています。
N+M			サーバブレードの N+M コールドスタンバイ機能の有効/無効を表示します。
-	状態		N+M コールドスタンバイ機能に使用する情報の状態を表示します。 情報未取得: N+M コールドスタンバイ機能に使用する情報を取得していません。 情報未設定: N+M コールドスタンバイ機能に使用する情報を設定していません。 情報取得中: N+M コールドスタンバイ機能に使用する情報を取得中です。 情報有効: N+M コールドスタンバイ機能に使用する情報を取得済です。
	最終実行結果		N+M コールドスタンバイ機能に使用する情報取得/設定機能の最後の動作結果を表示します。 Don't care: 情報取得/設定機能がまだ動作していません。 OK: 情報取得/設定機能が成功しました。 NG: 情報取得/設定機能が失敗しました。
Version	サーバブレードファームウェア	Current	現在動作しているサーバブレードファームウェアのバージョンを表示します。
		Next	次回起動時に動作するサーバブレードファームウェアのバージョンを表示します。
	BMC	Current	現在動作している BMC のバージョンを表示します。
		Next	次回起動時に動作する BMC のバージョンを表示します。
	EFI	Current	現在動作している EFI のバージョンを表示します。
		Next	次回起動時に動作する EFI のバージョンを表示します。
HVM	HVM モデル		HVM ライセンスの種類を表示します。
	HVM バージョン	Current	現在動作している HVM のバージョンを表示します。

表示			説明
		Next	次回起動時に動作する HVM のバージョンを表示します。
UUID			サーバブレードの UUID を表示します。
BMC MAC アドレス 0			サーバブレードの BMC が持つポートのうち、スロット 0 のマネジメントモジュールに接続しているポートに設定している MAC アドレスを表示します。
BMC MAC アドレス 1			サーバブレードの BMC が持つポートのうち、スロット 1 のマネジメントモジュールに接続しているポートに設定している MAC アドレスを表示します。
BMC IP アドレス			サーバブレードの BMC に設定している IP アドレスを表示します。
SMP 構成			サーバブレードが SMP を組んでいる場合、プライマリサーバブレードまたはノンプライマリサーバブレードのどちらかを示します。
-	SMP 接続ボード		SMP 構成のサーバブレードの場合、SMP 接続ボードの品名を表示します。
	プライマリブレード番号		SMP 構成のサーバブレードの場合、プライマリサーバブレード番号を表示します。
	ブレード一覧		SMP を構成するサーバブレードの一覧を表示します。
FRU	Server blade	Board Information	サーバブレードの Board Information FRU を表示します。
		Product information	サーバブレードの Product Information FRU を表示します。
Sensor	Blade temperature		サーバブレードの温度センサの値を表示します。

(2) サーバブレード LID

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバブレード>LID ON/OFF

サーバブレード LID ON/OFF 画面では、サーバブレードの LID の点灯状態の表示および LID の ON あるいは OFF 操作ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバブレード(SB)]ボタンをタッチします。
2. サーバブレード画面で、対象サーバブレードを選択します。
3. プルダウンメニューから[LID ON/OFF]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
4. サーバブレード LID ON/OFF 画面を表示します。

(3) サーバブレードファームウェア更新

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバブレード>ファームウェア更新

サーバブレードファームウェア更新画面では、USB デバイスに格納したサーバブレードのファームウェアを用いて、サーバブレードのファームウェアの更新ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバブレード(SB)]ボタンをタッチします。
2. さらにサーバブレード画面で、対象サーバブレードを選択します。

- SMP 構成の場合、対象サーバブレードにはプライマリサーバブレードを指定してください。
- プルダウンメニューから[ファームウェア更新]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
 - サーバブレードファームウェア更新画面を表示します。

参考

- サーバブレードのファームウェアは、サーバシャーシ前面のフロントパネルの USB 接続ポートに接続した USB デバイスに、格納している必要があります。
- SMP 構成の場合、SMP を構成するすべてのサーバブレードのファームウェアを更新します。

(4) サーバブレード保守モード設定

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバブレード>保守モード設定

サーバブレード保守モード設定画面では、サーバブレードの保守モードの状態、保守モード残り時間の表示、保守モードの設定ができます。

- ハードウェア保守メニューから[サーバブレード(SB)]ボタンをタッチします。
- サーバブレード画面で、対象サーバブレードを選択します。
- プルダウンメニューから[保守モード設定]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
- サーバブレード保守モード設定画面を表示します。

2.3.2 スイッチモジュール

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>スイッチモジュール

スイッチモジュール画面では、現在のスイッチモジュール状態のサマリの表示を行うほか、各スイッチモジュールの詳細表示、保守モードの設定を行う画面への遷移を行うことができます。

- ハードウェア保守メニューから[スイッチモジュール(SW)]ボタンをタッチします。
- スイッチモジュール画面を表示します。

表 2-7 サマリ表示の内容

表示	説明
#	モジュール番号を表示します。
搭載	搭載状態を表します。 搭載：モジュールが搭載されています。 非搭載：モジュールが搭載されていません。
電源	電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 起動中：モジュールが起動中であることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。
LID	LID 点灯状態を表示します。 ON：LID が点灯していることを示します。 OFF：LID が消灯していることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。

表示	説明
保守	数値：モジュールが保守モードに設定されていることを示します。数値はモジュールの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。 OFF：モジュールが保守モードに設定されていないことを示します。
種類	搭載しているスイッチ種別を表示します。 1G LAN-SW：Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20 ポート) 1G 40LAN-SW：Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(40 ポート) 1/10G LAN-SW：Hitachi 1/10Gb LAN スイッチモジュール 8G FC-SW：Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール 16G FC-SW：Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールまたは Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュール 10G DCB-SW：Brocade 10Gb DCB スイッチモジュール 1G LAN-PT：1Gb LAN パススルーモジュール 10G LAN-PT：10Gb LAN パススルーモジュール ----：モジュールが搭載されていません。

(1) スイッチモジュール詳細表示

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>スイッチモジュール>詳細表示

スイッチモジュール詳細表示画面では、スイッチモジュールの詳細な状態を表示します。

1. ハードウェア保守メニューから[スイッチモジュール(SW)]ボタンをタッチします。
2. スイッチモジュール画面で、対象スイッチモジュールを選択します。
3. プルダウンメニューから[詳細表示]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
4. スイッチモジュール詳細表示画面を表示します。

表 2-8 詳細表示の内容

表示	説明
搭載	搭載状態を表示します。 搭載：モジュールが搭載されています。 非搭載：モジュールが搭載されていません。
電源	電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 起動中：モジュールが起動中であることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。
LID	LID 点灯状態を表示します。 ON：LID が点灯していることを示します。 OFF：LID が消灯していることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。
保守	数値：モジュールが保守モードに設定されていることを示します。数値はモジュールの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。 OFF：モジュールが保守モードに設定されていないことを示します。
種類	搭載しているスイッチ種別を表示します。

表示		説明
		1G LAN-SW : Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20 ポート) 1G 40LAN-SW : Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(40 ポート) 1/10G LAN-SW : Hitachi 1/10Gb LAN スイッチモジュール 8G FC-SW : Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール 16G FC-SW : Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールまたは Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュール 10G DCB-SW : Brocade 10Gb DCB スイッチモジュール 1G LAN-PT : 1Gb LAN パススルーモジュール 10G LAN-PT : 10Gb LAN パススルーモジュール ---- : モジュールが搭載されていません。
Version	Firmware	モジュールのファームウェアバージョンを表示します。バージョン表示に対応したモジュールの場合のみ表示します。
FRU	Original	モジュールの Original FRU を表示します。
Sensor	Temperature	モジュールの温度センサの値を表示します。
	Voltage	モジュールの電圧センサの値を表示します。
	Current	モジュールの電流センサの値を表示します。

(2) スイッチモジュール LID

使用するための操作 : ホーム>ハードウェア保守>スイッチモジュール>LID ON/OFF

スイッチモジュール LID ON/OFF 画面では、スイッチモジュールの LID の点灯状態の表示および LID の ON あるいは OFF 操作ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[スイッチモジュール(SW)]ボタンをタッチします。
2. スイッチモジュール画面で、対象スイッチモジュールを選択します。
3. プルダウンメニューから[LID ON/OFF]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
4. スイッチモジュール LID ON/OFF 画面を表示します。

2.3.3 マネジメントモジュール

使用するための操作 : ホーム>ハードウェア保守>マネジメントモジュール

マネジメントモジュール画面では、現在のマネジメントモジュール状態のサマリの表示を行うほか、各マネジメントモジュールの詳細表示、LID の操作、ファームウェアの更新を行う画面への遷移を行うことができます。

1. ハードウェア保守メニューから[マネジメントモジュール(MM)]ボタンをタッチします。
2. マネジメントモジュール画面を表示します。

表 2-9 サマリ表示の内容

表示	説明
#	モジュール番号を表示します。
搭載	搭載状態を表します。 搭載 : モジュールが搭載されています。 非搭載 : モジュールが搭載されていません。

表示	説明
電源	電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 起動中：モジュールが起動中であることを示します。 シャットダウン中：モジュールがシャットダウン中であることを示します。 Boot Disable：搭載直後であり、起動が抑止されています。 -----：モジュールが搭載されていません。
LID	LID 点灯状態を表示します。 ON：LID が点灯していることを示します。 OFF：LID が消灯していることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
保守	数値：モジュールが保守モードに設定されていることを示します。数値はモジュールの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。 OFF：モジュールが保守モードに設定されていないことを示します。
系	マネジメントモジュールが"主系", "待機系"のいずれの状態であることを表示します。 主系：マネジメントモジュールが主系であることを示します。 待機系：マネジメントモジュールが待機系であることを示します。 -----：マネジメントモジュールが搭載されていません。

(1) マネジメントモジュール詳細表示

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>マネジメントモジュール>詳細表示

マネジメントモジュール詳細表示画面では、マネジメントモジュールの詳細な状態を表示します。

1. ハードウェア保守メニューから[マネジメントモジュール(MM)]ボタンをタッチします。
2. マネジメントモジュール画面で、対象マネジメントモジュールを選択します。
3. プルダウンメニューから[詳細表示]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
4. マネジメントモジュール詳細表示画面を表示します。

表 2-10 詳細表示の内容

表示	説明
搭載	搭載状態を表します。 搭載：モジュールが搭載されています。 非搭載：モジュールが搭載されていません。
電源	電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 起動中：モジュールが起動中であることを示します。 シャットダウン中：モジュールがシャットダウン中であることを示します。 Boot Disable：搭載直後であり、起動が抑止されています。

表示		説明
		---- : モジュールが搭載されていません。
LID		LID 点灯状態を表示します。 ON : LID が点灯していることを示します。 OFF : LID が消灯していることを示します。 ---- : モジュールが搭載されていません。
保守		数値 : モジュールが保守モードに設定されていることを示します。数値はモジュールの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。 OFF : モジュールが保守モードに設定されていないことを示します。
系		マネジメントモジュールが"主系", "待機系"のいずれの状態であるかを表示します。 主系 : マネジメントモジュールが主系であることを示します。 待機系 : マネジメントモジュールが待機系であることを示します。 ---- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
Version	Firmware	マネジメントモジュールファームウェアのバージョンを表示します。
	Dictionary	インストールされている辞書のバージョンを表示します。
	Equipment parameter	インストールされている装置パラメータのバージョンを表示します。
FRU	Board Information	モジュールの Board Information FRU を表示します。
	Product Information	モジュールの Product Information FRU を表示します。
	Multi Record Area	モジュールの保守 LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
MAC Address	Management LAN port	モジュールの管理 LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
	Maintenance LAN port	モジュールの保守 LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
管理 LAN 設定	IP Address	モジュールの管理 LAN の IP アドレスを表示します。
	サブネットマスク	モジュールの管理 LAN のサブネットマスクを表示します。
	デフォルトゲートウェイ	モジュールの管理 LAN のデフォルトゲートウェイを表示します。
Sensor	Temperature	モジュールの温度センサの値を表示します。
	Voltage	モジュールの電圧センサの値を表示します。

(2) マネジメントモジュール LID

使用するための操作 : ホーム>ハードウェア保守>マネジメントモジュール>LID ON/OFF

マネジメントモジュール LID ON/OFF 画面では、マネジメントモジュールの LID の点灯状態の表示および LID の ON あるいは OFF 操作ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[マネジメントモジュール(MM)]ボタンをタッチします。
2. マネジメントモジュール画面で、対象マネジメントモジュールを選択します。
3. プルダウンメニューから[LID ON/OFF]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
4. マネジメントモジュール LID ON/OFF 画面を表示します。

(3) マネジメントモジュールファームウェア更新

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>マネジメントモジュール>ファームウェア更新

マネジメントモジュールファームウェア更新画面では、USB デバイスに格納したマネジメントモジュールのファームウェア、SEL 辞書、装置パラメータを用いて、マネジメントモジュールのファームウェアの更新ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[マネジメントモジュール(MM)]ボタンをタッチします。
2. マネジメントモジュール画面で、プルダウンメニューから[ファームウェア更新]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
3. マネジメントモジュールファームウェア更新画面を表示します。

参考 マネジメントモジュールのファームウェア、SEL 辞書、装置パラメータは一括あるいは個別に更新することができます。
マネジメントモジュールを二重化している場合、マネジメントモジュール画面においてどちらのマネジメントモジュールを選択した場合でも、ファームウェア更新は両系に対して行われます。

2.3.4 ファンモジュール

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>ファンモジュール

ファンモジュール画面では、現在のファンモジュール状態のサマリの表示を行うほか、各ファンモジュールの詳細表示を行うことができます。

1. ハードウェア保守メニューから[ファンモジュール(FAN)]ボタンをタッチします。
2. ファンモジュール画面を表示します。

表 2-11 サマリ表示の内容

表示	説明
#	モジュール番号を表示します。
搭載	搭載状態を表します。 搭載：モジュールが搭載されています。 非搭載：モジュールが搭載されていません。
電源	電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。

(1) ファンモジュール詳細表示

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>ファンモジュール>詳細表示

ファンモジュール詳細表示画面では、ファンモジュールの詳細な状態を表示します。

1. ハードウェア保守メニューから[ファンモジュール(FAN)]ボタンをタッチします。
2. ファンモジュール画面で、対象ファンモジュールを選択します。
3. プルダウンメニューから[詳細表示]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。

- ファンモジュール詳細表示画面を表示します。

表 2-12 詳細表示の内容

表示		説明
搭載		搭載状態を表示します。 搭載：モジュールが搭載されています。 非搭載：モジュールが搭載されていません。
電源		電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
状態		動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
Sensor	Rotation	モジュールの回転数センサの値を表示します。

2.3.5 電源モジュール

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>電源モジュール

電源モジュール画面では、現在の電源モジュール状態のサマリの表示を行うほか、各電源モジュールの詳細表示、LID の操作、ファームウェアの更新、保守モードの設定を行う画面への遷移を行うことができます。

- ハードウェア保守メニューから[電源モジュール(PS)]ボタンをタッチします。
- 電源モジュール画面を表示します。

表 2-13 サマリ表示の内容

表示		説明
#		モジュール番号を表示します。
搭載		搭載状態を表示します。 搭載：モジュールが搭載されています。 非搭載：モジュールが搭載されていません。
電源		電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
状態		動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 -----：モジュールが搭載されていません。
AC 入力		電源モジュールへの AC 入力状態を表示します。 接続あり：電源モジュールへの AC 入力があることを示します。 接続なし：電源モジュールへの AC 入力がないことを示します。

(1) 電源モジュール詳細表示

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>電源モジュール>詳細表示

電源モジュール詳細表示画面では、電源モジュールの詳細な状態を表示します。

1. ハードウェア保守メニューから[電源モジュール(PS)]ボタンをタッチします。
2. 電源モジュール画面で、対象電源モジュールを選択します。
3. プルダウンメニューから[詳細表示]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
4. 電源モジュール詳細表示画面を表示します。

表 2-14 詳細表示の内容

表示		説明
搭載		搭載状態を表示します。 搭載：モジュールが搭載されています。 非搭載：モジュールが搭載されていません。
電源		電源状態を表示します。 ON：電源が ON であることを示します。 OFF：電源が OFF であることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。
状態		動作状態を表示します。 正常：モジュールが正常であることを示します。 警告：モジュールが警告状態となっていることを示します。 障害：モジュールが障害状態となっていることを示します。 ----：モジュールが搭載されていません。
AC 入力		電源モジュールへの AC 入力状態を表示します。 接続あり：電源モジュールへの AC 入力があることを示します。 接続なし：電源モジュールへの AC 入力がないことを示します。
動作電圧		AC 入力がある場合、AC 電圧が 100V、200V のいずれであるかも表示します。 なお、100V、200V は自動判定です。
FRU	Product Information	モジュールの Product Information FRU を表示します。
Sensor	Temperature	モジュールの温度センサの値を表示します。
	Voltage	モジュールの電圧センサの値を表示します。
	Current	モジュールの電流センサの値を表示します。
	Rotation	モジュールの回転数センサの値を表示します。

2.3.6 サーバシャーシ

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバシャーシ

サーバシャーシ画面では、現在のサーバシャーシ状態の表示を行うほか、フロントパネルの LID の操作、サーバシャーシの保守モード、フロントパネルの保守モードの設定を行う画面への遷移を行うことができます。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバシャーシ(SC)]ボタンをタッチします。
2. サーバシャーシ画面を表示します。

表 2-15 詳細表示の内容

表示		説明		
サーバ シャーシ	電源		電源状態を表示します。 ON : 1つ以上のサーバブレードの電源が ON であることを示します。 OFF : すべてのサーバブレードの電源が OFF であることを示します。	
	状態		動作状態を表示します。 正常 : サーバシャーシが正常であることを示します。 警告 : サーバシャーシが警告状態となっていることを示します。 障害 : サーバシャーシが障害状態となっていることを示します。	
	LID		LID 点灯状態を表示します。 ON : LID が点灯していることを示します。 OFF : LID が消灯していることを示します。	
	保守		数値 : サーバシャーシが保守モードに設定されていることを示します。数値はサーバシャーシの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。 OFF : サーバシャーシが保守モードに設定されていないことを示します。	
	Part/Model Number		システム装置の形名を表示します。	
	Serial Number		システム装置の製造番号を表示します。	
	Chassis type		シャーシタイプを表示します。	
	重量		システム装置の総重量(Kg)を表示します。 総重量には搭載されているモジュールを含みます。	
	シャーシ ID		シャーシ ID を表示します。シャーシ ID は JP1/ Server Conductor/Blade Server Manager でシステム装置を識別するために使用します。	
フロントパ ネル	保守		数値 : サーバシャーシが保守モードに設定されていることを示します。数値はサーバシャーシの保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表します。 OFF : サーバシャーシが保守モードに設定されていないことを示します。	
	USB デバ イス情報	ポート 0	状態	USB デバイスの接続状態, マウント状態を表示します。
			USB バージョ ン	USB バージョン (1.1 または 2.0) を表示します。
			デバイス 種	USB デバイスが接続されている場合, そのデバイス種を表示します。
		ポート 1	状態	USB デバイスの接続状態, マウント状態を表示します。
			USB バージョ ン	USB バージョン (1.1 または 2.0) を表示します。
			デバイス 種	USB デバイスが接続されている場合, そのデバイス種を表示します。

(1) サーバシャーシ LID

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバシャーシ>LID ON/OFF

サーバシャーシ LID ON/OFF 画面では、サーバシャーシのフロントパネルにある LID の点灯状態の表示および LID の ON あるいは OFF 操作ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバシャーシ(SC)]ボタンをタッチします。
2. サーバシャーシ画面で、プルダウンメニューから[LID ON/OFF]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
3. サーバシャーシ LID ON/OFF 画面を表示します。

(2) サーバシャーシシャットダウン

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバシャーシ>シャーシシャットダウン

サーバシャーシシャットダウン画面では、サーバシャーシのシャットダウン操作ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバシャーシ(SC)]ボタンをタッチします。
2. サーバシャーシ画面で、プルダウンメニューから[シャーシシャットダウン]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
3. サーバシャーシシャットダウン画面を表示します。

(3) サーバシャーシ保守モード設定

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバシャーシ>サーバシャーシ保守モード設定

サーバシャーシ保守モード設定画面では、サーバシャーシの保守モードの状態、保守モード残り時間の表示、保守モードの設定ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバシャーシ(SC)]ボタンをタッチします。
2. サーバシャーシ画面で、プルダウンメニューから[サーバシャーシ保守モード設定]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
3. サーバシャーシ保守モード設定画面を表示します。

(4) フロントパネル保守モード設定

使用するための操作：ホーム>ハードウェア保守>サーバシャーシ>フロントパネル保守モード設定

フロントパネル保守モード設定画面では、フロントパネルの保守モードの状態、保守モード残り時間の表示、保守モードの設定ができます。

1. ハードウェア保守メニューから[サーバシャーシ(SC)]ボタンをタッチします。
2. サーバシャーシ画面で、プルダウンメニューから[フロントパネル保守モード設定]を選択し、[操作]ボタンをタッチします。
3. フロントパネル保守モード設定画面を表示します。

2.4 ダンプログ採取

使用するための操作：ホーム>ダンプログ採取

ダンプログ採取画面では、サーバシャーシ前面のフロントパネルの USB 接続ポートに接続した USB メモリにダンプログを採取できます。

1. ホーム画面から[ダンプログ採取]ボタンをタッチします。
2. ダンプログ採取画面を表示します。

2.5 日本語/English 切り替え

使用するための操作：ホーム画面にて[日本語/English]ボタンをタッチする

LCD タッチコンソールにて使用する言語を切り替えます。使用できる言語は日本語と英語です。

1. ホーム画面から[日本語/English]ボタンをタッチします。
2. LCD タッチコンソールにて使用する言語が切り替わります。

参考 LCD タッチコンソールをサーバシャーシ前面のフロントパネルにある USB 接続ポートに接続した時は、サーバシャーシに設定した言語設定に従い LCD タッチコンソールの表示を行います。本機能は LCD タッチコンソールの表示のみに影響します。

ソフトウェアのライセンス情報

この章では、ソフトウェアのライセンス情報について説明します。

□ 3.1 ソフトウェアのライセンス情報

3.1 ソフトウェアのライセンス情報

Copyright 1984-1989, 1994 Adobe Systems Incorporated.

Copyright 1988, 1994 Digital Equipment Corporation.

Adobe is a trademark of Adobe Systems Incorporated which may be registered in certain jurisdictions. Permission to use these trademarks is hereby granted only in association with the images described in this file.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notices appear in all copies and that both those copyright notices and this permission notice appear in supporting documentation, and that the names of Adobe Systems and Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Adobe Systems and Digital Equipment Corporation make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.